

# 知識・技術等に加え人間性も評価対象

## 明海大歯学部 歯科総合医育成コース資格称号授与式 2名がエクセレントクリニシアンに



中島明海大学歯学部部長

明海大学歯学部生涯研修部は5月29日、東京・新宿区内の明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センターで、2014年度「歯科総合医育成コース」資格称号授与式を行った。本コースは、知識・技術・人間性に優れ、国民に寄与する歯科医師

の養成を目的に2014年度から制度化されたものの。クリニカルベースのコースおよびクリニカルステップアップコースを修了した「エクセレントクリニシアン」として、長谷川雄一・小林真人の両氏が中島裕裕歯科総合医

評価機構長（明海大学歯学部部長）から資格称号を授与された。挨拶に立った中島評価機構長は、これまでの経緯と今後について「第1号および第2号の認定者

が誕生したことを心よりお祝い申し上げる。専門医については、大学や学会が育成に努めているが、国民が大多数を対象とする歯科総合医の育成のため

の誕生したことを心よりお祝い申し上げる。専門医については、大学や学会が育成に努めているが、国民が大多数を対象とする歯科総合医の育成のため



称号授与式

が誕生したことを心よりお祝い申し上げる。専門医については、大学や学会が育成に努めているが、国民が大多数を対象とする歯科総合医の育成のため

また、単位認定委員会の上濱正副委員長は本コースの認定に対する考

え方について「大学において重要なことは、国家資格を得るための教育、歯学博士となるための研

が存在していない。明海大学ではかねてよりそのニーズを認識しており、プログラムを体系化してきた。さらに、評価機構が認定することによって、医療の質を保証し、社会の支持を得るためこのたびのサーティファイケートを設けることとした。今後も



上濱正副委員長

「評価機構では認定にあたり、知識・技術・態度の3点を対象とした。講義を受けるという受動的な研修に加え、症例提出という能動的な研修を併せて実施した。さらに、人間性に関わる口頭試問など多面的な審査も行った。各学会で認定制度が行われているものの、人間性の評価を第三者機構が介入するシステムは類を見ない。本来患者さんが求めているのはこの点であると考えている。長谷川・小林の両氏には、より高いレベルの資格を修得し、臨床のみならず次世代の養成をも目指していただきたい」